

町内	夫婦氏名	結婚年月日
堂島前	吉田 熊治	大正十四年三月二十三日
中島町	藤田 善吉	大正十四年四月二十八日
山沢	久住己代次	大正十四年八月十九日
安永	小林 直治	大正十四年九月十日
堂島前	小林 金治	大正十四年九月二十五日
本与板	樋口嘉一	大正十四年十月二十一日
榎原	千野 松藏	大正十五年二月四日
吉津	小林 豊作	大正十五年三月十七日
蔵小路	岩本憲次	大正十五年三月二十九日

結婚五十年

金婚おめでとう

新潟県知事からお祝い品

ご結婚されて五〇年、夫婦仲睦まじく明るい家庭と社会発展に尽され、今年金婚を迎えられた方々に、新潟県知事よりお祝いの色紙が贈られました。

今後、健康にご留意されまして益々社会の発展に尽力下さることをお祈り申します。



9月15日・敬老の日

長寿を祝う

老人福祉週間 9.15~9.21

与板町内には、本年で満八十八才以上(明治二十一年十二月三十一日以前生)の方が十九人居られます。皆様方は、明治・大正・昭和と移り行く歴史の中で経済恐慌、戦争そして敗戦

ベスト・高令者

長い人生を歩んでこれだけ経験を誇りとして、今後健康にご留意下さいまして長寿されます様お祈り申し上げます。

(下段写真の年令は9月15日現在の満年令)

と幾多の社会変動の中で、常に社会発展に尽しながら長寿を得られたこと心より敬愛いたします。

戦後、とかくお年寄りを社会の片隅に押しやるうとする社会風潮の中、私達はお年寄りを尊ぶ敬愛する思想と老人の幸せについて関心を養うと共に、老人自身も自分の地位を自覚し愛される老人、尊敬される老人となる様努力され、お互いに人格を尊重しあい老人福祉の充実をうながし、社会建設に努めなければならぬと考えて居ります。

山沢 小林タミさん 明20.2.5 89才	本与板 大平ミカさん 明20.1.5 89才	安永 大久保貞次郎さん 明19.12.19 89才	北新町 小林亀次郎さん 明19.7.16 90才	蔵小路 新田タセさん 明19.5.25 90才	岩方 荒木正二さん 明19.1.2 90才	中町 長谷川七三郎さん 明16.2.24 93才
舟戸 笠原スガさん 明21.8.15 88才	榎原 笠原子之蔵さん 明21.4.29 88才	横町 倉重ヤノさん 明21.3.17 88才	横町 内藤平次郎さん 明21.3.4 88才	南中 佐藤ヨネさん 明21.3.3 88才	南中 倉品キクさん 明20.2.15 89才	吉津 吉田ツギさん 明20.2.5 89才
舟戸 小林権吉さん 明21.11.23 87才	長丁 田中スイさん 明21.11.10 87才	横原 笠原作太郎さん 明21.11.10 87才	広野 竹内ヨキさん 明21.11.9 87才	泉丁 新井野正義さん 明21.11.7 87才		

私たちの寿命

私たちの寿命は、戦前は「人生五十年」と言われて五十才が平均寿命だと信じてられていました。だから、七十才になれば古来稀(まれ)だというのが「古稀の祝」が行われました。

それが、戦後食糧事情の好転や医学の進歩などによって長生きするようになり七十才では稀などと言われなくなりしました。最近では全国平均で男七十二才、女七十六才と発表されています。

それでは、与板の平均寿命はどの位になっているか試みに昭和四十六年から昭和五十年の五か年間を調べて見たら次の通りです。

区分	平均年令	
	男	女
昭和46年	65	65
昭和47年	65	66
昭和48年	65	66
昭和49年	67	67
昭和50年	68	69
五ヶ年平均	66	68
	70	70
	68	68
	4	4

これは、何れも満年令です。この表で見ると女性が男性より平均四年長生きする勘定です。国の平均と比べて私共はもう少し長生きが生活すればもっと長生きができるような気がします。お互いに健康で長生きするように努めましょう。

スロ-ガン

手をかそう

ちっちゃな子どもと

お年寄り

この運動は、すべての者に交通安全思想の普及徹底を図り、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的として、歩行者(特に子どもと老人)及び自転車利用者の事故防止とシートベルト着用を重点として実施されます。

子供の交通事故防止

- ①路上の遊びが多い。
 - ②遊びに熱中して車に気がつかない。
 - ③夕方には運転者も疲れから注意力が鈍る。
 - ④仕事の終わりが近づいて運転者が先を急ぐ。
 - ⑤交通量が多くなる。
 - ⑥夕食の準備などで、子どもの遊びに保護者の目が届かなくなる。
- などがあげられます。また、次のようなことを見たら「あぶないよ」「こちへ来なさい」などと注意して、危いわけを話してやめさせるようにしましょう。
- ①幼児が道路でヨチヨチ歩きをしている。

秋の全国交通安全運動

9・21~9・30



◎良いマナー広めて無事故のまちづくり

- ①気持は若くても、手足やからだか思うように動かない。
- ②耳や目が衰えているが、自覚していないことが多い。
- ③動作が全体的にゆっくりである。
- ④心理的
- ①交通のキマリをよく知らない。
- ②交通のことに無関心
- ③歩いているとき、また、交通事故に逢う状況や時間帯は
- ①歩いているとき
- ②自転車の利用
- ③午後五時から午後九時迄に多く発生しています。

- ①明るい色の服装をする。
 - ②懐中電灯や反射性器具を身につける。
 - ③夜間や雨などの日は、外出をとりやめる。
- ※危い遊びを見たら、一声注意をしましょう。
- 老人の交通事故防止**
- 交通事故に結びつくお年寄りの特性として、次のようなことがあげられます。
- △身体的

シートベルト・ヘルメットの着用

もし、ブレーキがきかない自転車に乗っていて赤信号で止まらなかったとしたら……。こんなことにならないように、乗る前に必ず点検し、安心して乗れるようによく整備しておきましょう。

自転車事故の多くは、交差点で右折しようとしたり直線道路で横断するときに起つています。

正しい合図と安全確認は自転車乗車を安全にするための第一歩であるということを忘れないようにしましょう。

飲酒したらハンドルを握らない

「酒を飲んだら運転をしない」「運転するときは酒を飲まない」「運転する人には酒を飲ませない」の三原則が確実に守られれば、飲酒運転による交通事故はなくなるはずですが、しかし現実には日夜発生しており、大きな事故に発展しています。

ドライバー自身は当然のことですが、家族や友人など周りにいる人たちが総ぐるみの協力で飲酒運転を追放しましょう。



9月14日
15日
16日

みんなの登り屋台

行事案内

●14日(火)

みこし渡御 正午～郊外
登り屋台 夜7時30分～中央通り～八幡宮
舞台演芸 夜10時～八幡宮
(馬越神楽保存会)
(与板民謡たばな会)
(ブルーノーツ)

●15日(水・祝)

下り屋台 昼9時30分～八幡宮～中央通り
鼓笛隊パレード 昼10時～11時 飯成社～八幡宮
バトンガールパレード 昼10時～11時 飯成社～八幡宮
みこし渡御 昼11時～八幡宮～飯成社(本通り)～八幡宮
山車パレード 昼1時～5時 役場前～
子供たるみこし 昼2時～4時 飯成社～八幡宮
登り屋台 夜7時30分～中央通り～八幡宮
舞台演芸 夜10時～八幡宮
(吉津神楽保存会)
(Y・M・A)

●16日(木)

下り屋台 昼9時30分～八幡宮～中央通り
山車パレード 昼1時～5時 役場前～
民謡流し 夜7時～10時 稲荷町～八幡宮

★協賛行事

15・16日 昼9時～5時
与板の良寛碑拓本展 大栄信用組合ホール
(布施一喜雄作品展)

15・16日
錦鯉展示即売会 中町中央

★BSNテレビ放送

9月20日 午後5時30分より

赤い羽根は福祉参加のシンボル

赤い羽根で親しまれている共同募金運動が、今年で三十才をかぞえ、十月一日から全国でくりひろげられます。併せてお願いしたいと願う心は誰でも同じです。中には体の不自由な人や一人暮らしのお年寄りなどのように、自分を果せない人々も残されています。赤い羽根運動はこうした人々に少しでも多くの思いやりをお届けしようとする助け合いの心です。

みんなの胸に赤い羽根で



助け合いの輪をひろげよう

胸にさす赤い羽根の一本が、またお年玉の年賀はがきの一枚一枚が児童、老人などの福祉施設にまた地域住民の福祉活動等の運営資金の一部にあてられています。赤い羽根を通して、赤い羽根を通じて最も身近な福祉参加と言えましょう。一本でも多く、赤い羽根を通して不幸な人びとの併せに小さな手伝いをお願いいたします。

子どもの遊び場の遊具はいたんでいませんか!!

子どもの事故防止、危険な遊びから守るため、共同募金の配分金や町の委託金で児童遊園を設置して下さる年数を重ねているようですが、管理はよろしいでしょうか、遊具の塗料が剥げていたり、金具等がいたんでいたりしていませんか。塗料は、ご連絡ください。

また金具等がいたんでいて事故がおきると大変ですので、設置後の管理者の町内委員長さんは点検くださいます。修理費等の助成が必要の場合は町社会福祉協議会(住民課内)にご相談ください。

青年学級

彦根城の見学を終えて

与板井伊家の元祖である井伊直継が、二十年かけて築城したと言われている彦根城、及び楽々園、玄宮園、龍潭寺などを見学して来たわけですが、最初に見学した彦根城は山全体がお城のようなもので、ゆっくり見



にもこういうものがあるというのを知って貰えたらと思います。彦根城を下って楽々園、玄宮園へ行きまして、楽々園は旅館と出来なかつたので、とても残念でした。それでも、玄宮園のゆきとどいた立派な庭園を見ることが出来ただけでも幸いです。

最後に、もっと井伊家のことを勉強しておけば良かったと思います。そして、他の沢山の人も彦根城のことを知ってもらえることが出来たら幸いです。

小森 秀樹

彦根市には、井伊家に関する史跡や記念物も多く残っており、城下町独特の風情をもつ町並がいたるところに見られました。国宝である彦根城の天守閣、重要文化財の天秤櫓、馬屋、西の丸と三重櫓、太鼓や続櫓等それらの建物を見学してまいりました。これらの建物は、調和のとれた美観を保ち今現在、私達の目を見はらせるものがあります。

私は、この彦根研修に参加して彦根町の歴史に深い興味をもつことが出来ました。

最後に、彦根町の若者達がこれらの機会に多く参加されることを望みます。

高令者教室に憶う

高令者教室運営委員 佐藤 益次



高令者教室が創設されて本年で四年目を迎え、去る八月十一日てまり荘に於て開級式が行われ、式後「与板井伊藩と彦根藩」と題して、池上大一先生の講演があり、参加七十余名が有意義に受講されました。

この教室は、私達高令者が学習や趣味、レクリエーションを通じて仲間を作り生きがいのある生活ができるように実施されるもので、今後これらを基に彦根町の政治、経済や産業、私達が健康に過すための健康管理、趣味を活かした楽焼、竹細工、わら細工の手作りの楽しさ、町の文化財、民話と生活、宗教などいろいろと時宜に適した科目が計画されておりです。

また、九月十七日に野外学習として三国峠の権現社、猿ヶ京の関所跡、赤谷湖、塩沢の牧之記念館など三国街道の史跡を巡ることにしております。

これら学習が、単にもの知り博士的な勉強でなく、先ず、人格の形成に、即ちモラルの面に、情操の方面にと心したいものです。社会では、一般の通念として老人を世の先輩としておろか、自分果してその器かどうか厳しい反省を忘れず

皆さんと共に手を取り合い歩調を合わせ、常に健康に留意し明るく心豊かに保ちながら不幸にして病床にあられる方々を思い、ボランティア的精神の行き方で適当な時期に、適当な方法で真心込めて慰さめ、労わり且励ましている感じられるように謙虚にお返しし、自分達の恵まれたこの健康の有難さを神仏に社会に感謝の念を新たに致し、人間はあらゆる程度の哲学と申しませうか、また宗別を問わず宗教的精神を持つことが幸せではないでしょうか。

何れ、生きがい教育の名にそむかぬよう共々に実りある学級を続けたいものであり、ご当局のご配慮に感謝いたします。

社会教育がらのあじり

て歩くとは半日以上はかかると言われているくらいに広さを持つたお城でした。

彦根城内にある井伊家歴代藩主の遺愛品などが展示されている天秤櫓(井伊美術館)へ行つて感動したことは、小学校、中学校あるいは、高等学校の校章で見えたことのないただの家紋を井伊美術館の中

遺愛品すべてと言っている程は、やっぱり彦根と彦根とは関係が深いんだなあというのを知ることが出来たこと、井伊直政が関ヶ原の合戦で奮戦した時、身につけていたといわれている赤備の鎧を見ることが出来たことでした。

ところで、与板の公民館に展示されている井伊直政が関ヶ原の合戦で奮戦して徳川家康からいただいたという孔雀の陣羽織が、井伊美術館にあれば完璧なものとなつたのではないのでしょうか。それだけでも、わざわざ彦根まで見に行かなくても与板にあるので、沢山人達から見てもらい与板

菊口せい子

与板町青年学級では、七月二十三日から二十五日まで、郷土学習の一環として与板の歴史に深い関係のある与板藩主井伊家について学習のため滋賀県彦根市を



ポストコーナー

老後を明るく楽しいものに 簡易保険で保障と生活安定を

我が国の平均寿命は男性が71.16歳女性が、76.31歳と、世界の長寿国と肩を並べるまでになりました。厚生省人口問題研究所の統計によりますと、65歳以上の方は全人口の7.6%、15年後には10.8%と老齢化の傾向にあるとのことです。また総理府の「老人問題に関する世論調査」によりますと、65～69歳までの老人は「自分の力で生活できる」が31%、「自分の力で生活できない」が57%、「わからない」が12%となっており、約6割の方が老後の生活に不安を感じています。こうしたことを考えてみますと、老後を楽しく過ごすためには若い時から早めに生活設計をたてる必要があります。

▶簡易保険で老後の安定を

郵便局では、老後の生活を明るく楽しいものとするため、いろいろな種類の保険を用意しております。例えば、定年の時を目標に老後の資金計画をお立てになる場合は、貯蓄と保障を兼ねた「普通養老保険」が最適です。老後の保障を重点にしたいという方には「長生きの保険（特別終身保険）」が最適です。また、基本契約に疾病障害特約をつけておきますと、病気がケガで入院された場合も、保険金をお支払いいたします。

年金・恩給は振替預入へ 自動的に郵便貯金へ預入

恩給や規費年金・厚生年金などの支給額が今年も引き上げられることになっております。郵便局では、これらの恩給などを自動的に郵便貯金に預け入れる振替預入の取扱いをしています。振替預入の手続きをしておきますと都合のよい時に郵便局へ預金通帳をお持ちになればその際に通帳に支給額を記入しますので、支給日ごとに郵便局へ受け取りに行くという手数がはぶけます。また、この手続きをしますと、支給日に郵便貯金となりますから利息の楽しみもあります。振替預入の手続きは簡単で、恩給などの証券と印鑑及び郵便貯金通帳をご持参ください。

お年寄りの方へお便りを

9月15日の敬老の日です。今年もお年寄りの方へお便りを出しましょう。お孫さんからおじいさん、おばあさんへ、あるいは年老いたご両親へ心のこもったお便りは何よりの贈り物です。また、話し相手の少ない一人暮らしのお年寄りの方にはお便りがたいへん喜ばれます。お知り合いの一人暮らしのお年寄りの方にもお便り出しましょう。

心配ごと相談所とは

今月は14・21・28日と10月5・12日

開設以来奉仕されてきた前波純一委員が惜しくも亡くなられたこと、これをいたしました。この代りに久住良三委員が当られることになり、毎週第一火曜日を担当されます。氏も前任者同様懇切親身の相談に預られますので、どんな事でもお気軽に相談ください。お申し込みは、お電話でお知らせください。

相談所陣容強化

開設以来奉仕されてきた前波純一委員が惜しくも亡くなられたこと、これをいたしました。この代りに久住良三委員が当られることになり、毎週第一火曜日を担当されます。氏も前任者同様懇切親身の相談に預られますので、どんな事でもお気軽に相談ください。お申し込みは、お電話でお知らせください。

民生・児童委員の補充

前波純一委員は十八年の永きに渉り、地域の民生行政に協力され、地域の福祉に多大な貢献をされ、更に今後に期待申し上げておりました。突然として逝去され、痛惜の極であります。こんどこの地域から中村ハツイさんが八月一日付で任命を受けられ、前任者同様誠心をもって民生安定に社会福祉に奉仕されることになりました。地域の方々はじめ皆さんから一段のご声援とご協力ありますようお願いいたします。児童委員も皆さんの総協力があって始めてその任務の遂行が出来ますので、くれぐれもよろしくお力をお貸しください。

たばこは 町内で 買いましたら

毎週火曜日・午後一時三十分から午後三時三十分まで、役場二階男子厚生室で行っております。相談は、無料で部外秘密扱いです。心配ごとや悩みごとなどをお持ちの方は遠慮なくお気軽にお越しください。毎相談日の時間中に電話でも受け付けますので、ご利用ください。

相談員 田村記

献血車 ゆうあい号が 来町します

●日時 十月五日(土) 午前10時から午後三時まで

●場所 与板郷消防署脇

●献血は 誰でもできる 人助け 尊い生命が救われます



みなさんのご協力を 川をきれいにしましょう

「川をきれいにするには、ゴミや汚物などを捨てるのをやめよう」

●目的 内部障害者の健康管理を行ないながら技能を身につけ、社会復帰(就職等)を促進します。

●入所対象 呼吸器、並に心臓、腎臓機能障害者です。

●入所資格 満十五才以上の者で医師が訓練指導を行なっても差支えないと認められた者で精神的障害のない者


●入所費用 生活保護世帯及び低所得者は無料です。尚、この者には、月一、一〇〇〇円の日用品費と四、一〇〇〇円の訓練手当が支給されます。高額所得者については、一三、九〇〇円の食費のみ負担してもらいます。

●健康管理 嘱託医の診察が受けられます。定期検査は毎月行なっており、異状がある場合夜間でも往診が求められます。

●訓練科目 電気科・洋裁科・印刷科・経理簿記科・その他 詳細については、都福祉事務所又は、町役場住民課へ問い合わせ下さい。

グループ紹介 サイクリング協会

一列に並んだ銀輪のスポークがキラキラと夏の朝の直射日光を反射してエキゾースト音も排気ガスもない新しい農道を明るい話し声が過ぎていく。自らの体力で汗をにじませながら走る事のさわやかさ、草いきれと水面のにおいと涼風に乗って、鳥の声・仲間たちの声が聞こえてくる時の楽しさ。サイクリングの魅力とはこんな素朴な、そして身近にあるものなのです。技術の上手下手も、体力的なハンディも必要なく、皆んなが参加し楽しめるスポーツです。毎年町民サイクリングには多数の人達から参加していただき活動しております。楽しみながら適当に身体も鍛えられますからどうぞ気軽に参加して下さい。



テレホンサービス9月予定表

日	曜日	テーマ	日	曜日	テーマ
1	水	バーゼンを上手にいかす方法	17	金	住宅・住宅を求め際の注意事項
2	木	くらしの中の安全マーク(S)(SG)	18	土	消費生活相談事例
3	金	消費生活相談事例	19	日	夏物の上手な手入れ(すだれ・網戸)
4	土	消費生活相談事例	20	月	加工食品の価格動向
5	日	夏物の上手な手入れ(海浜レジャー用品)	21	火	消費生活相談事例
6	月	加工食品の価格動向	22	水	消費生活相談事例
7	火	消費生活相談事例	23	木	手作り食品と食塩
8	水	消費生活相談事例	24	金	合成繊維の性質
9	木	消費生活相談事例	25	土	
10	金	消費生活相談事例	26	日	
11	土	消費生活相談事例	27	月	
12	日	消費生活相談事例	28	火	
13	月	消費生活相談事例	29	水	
14	火	消費生活相談事例	30	木	
15	水	消費生活相談事例			
16	木	消費生活相談事例			

ダイヤルしましょう (0252) 67-7000
今すぐ役立つ消費者情報
「ハイ県くらしのダイヤルです」

税金あれこれ

お年寄りとは、九月十五日は、「敬老の日」です。日本人の平均寿命はおよそ男性七十二歳、女性七十六歳で、世界の長寿国の一つとなっています。国では、老人福祉問題について、いろいろな施策を行い、所得税についても、利の特典を設けています。★お年寄りが受けられる特典が六十年令が六十

五歳以上で所得金額一千万円以下の人は、① 老年者控除として所得金額から二十万円が差引かれます。② 国民年金や厚生年金などの公的年金又は恩給を受けている場合に、老年者年金特別控除としてその収入金額から七十八万円が特別に差引かれます。★お年寄りを扶養している人が受けられる特典が七十七歳以上の方を扶養している人は、一般の扶養控除二十六万円より多い三十二万円が所得金額から差引かれます。この場合、その方が障害者であるときは、扶養控除二十六万円と障害者控除二十万円の合計が差引かれることとなります。

パート収入と所得税

パートの年収	夫の年収から配偶者控除が	パート収入に所得税が
70万円以下	受けられる	かからない
70万円超え 76万円以下	受けられない	かかる
76万円超え		かかる

親子バレーボール大会 優勝カップは北新町チームに

与板中学校PTA保健体育部主催の親子親善地域バレーボール大会が八月二十二日、中学校体育館で開催されました。この大会も、今年で六回目を迎える訳ですが、今年度からは優勝カップが授与されることになり参加十六チームによって熱戦が展開されました。チーム編成は、男女を問わず一チーム父兄四人、中学生五人の九人制です。チームによっては、一家から三人も出場されて大奮闘されたところもありました。どのチームも一戦一戦勝ちぬくことを目標に最後まで

冊子直江山城守兼続 差し上げます

与板の歴史の中に戦国の武将・直江兼続があります。この与板城址(通称山城)の城主・直江山城守兼続について、執筆小坂覚先生によって新たな資料が見いだされ、このほど冊子(写真)に纏められ、愛好者などに差し上げられ、ご入用の方は、申し出ください。(部数に制限があります。)

ガン征庄月間

9月1日 30日
くらしの豆知識
今月休みます

内部障害者の 入所生を募集

●目的 内部障害者の健康管理を行ないながら技能を身につけ、社会復帰(就職等)を促進します。

●入所対象 呼吸器、並に心臓、腎臓機能障害者です。

●入所資格 満十五才以上の者で医師が訓練指導を行なっても差支えないと認められた者で精神的障害のない者

●入所費用 生活保護世帯及び低所得者は無料です。尚、この者には、月一、一〇〇〇円の日用品費と四、一〇〇〇円の訓練手当が支給されます。高額所得者については、一三、九〇〇円の食費のみ負担してもらいます。

●健康管理 嘱託医の診察が受けられます。定期検査は毎月行なっており、異状がある場合夜間でも往診が求められます。

●訓練科目 電気科・洋裁科・印刷科・経理簿記科・その他 詳細については、都福祉事務所又は、町役場住民課へ問い合わせ下さい。

グループ紹介 サイクリング協会

一列に並んだ銀輪のスポークがキラキラと夏の朝の直射日光を反射してエキゾースト音も排気ガスもない新しい農道を明るい話し声が過ぎていく。自らの体力で汗をにじませながら走る事のさわやかさ、草いきれと水面のにおいと涼風に乗って、鳥の声・仲間たちの声が聞こえてくる時の楽しさ。サイクリングの魅力とはこんな素朴な、そして身近にあるものなのです。技術の上手下手も、体力的なハンディも必要なく、皆んなが参加し楽しめるスポーツです。毎年町民サイクリングには多数の人達から参加していただき活動しております。楽しみながら適当に身体も鍛えられますからどうぞ気軽に参加して下さい。